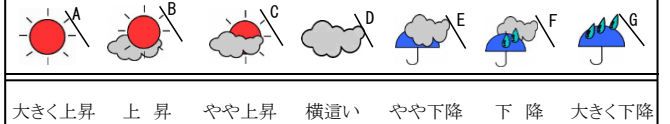


品川区の 景況

平成 30 年 10 月～12 月期

調査対象 合計 358 社
 製造業 70 社 卸売業 73 社
 小売業 65 社 サービス業 79 社
 建設業 71 社
 調査方法 郵送アンケート調査
 調査機関 (株) 東京商工リサーチ

景気予報

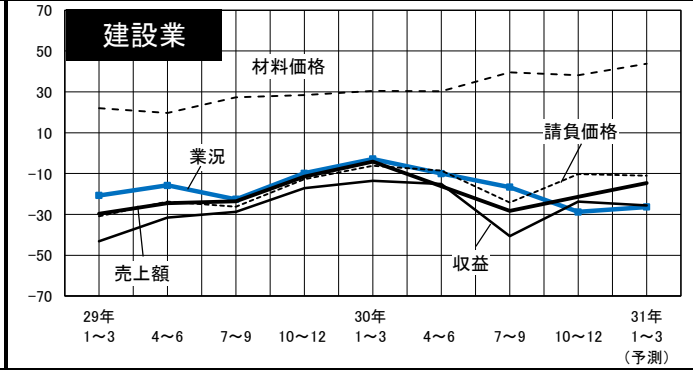
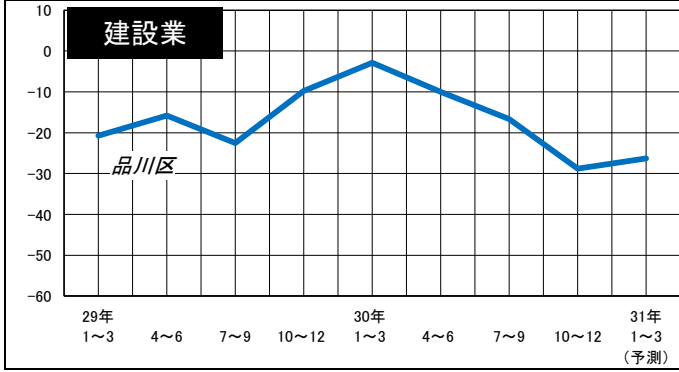
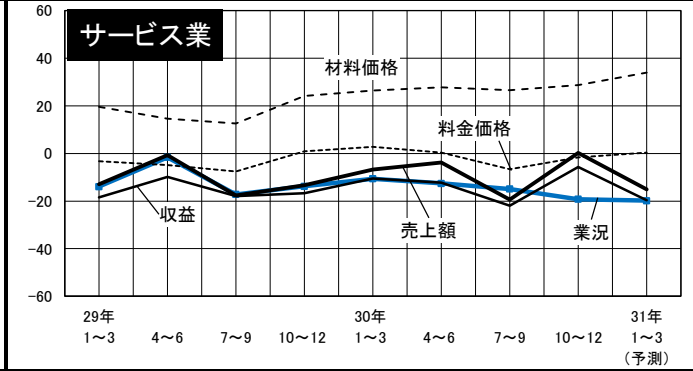
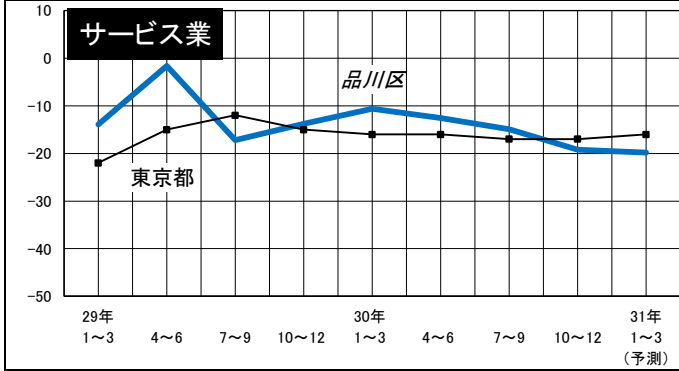
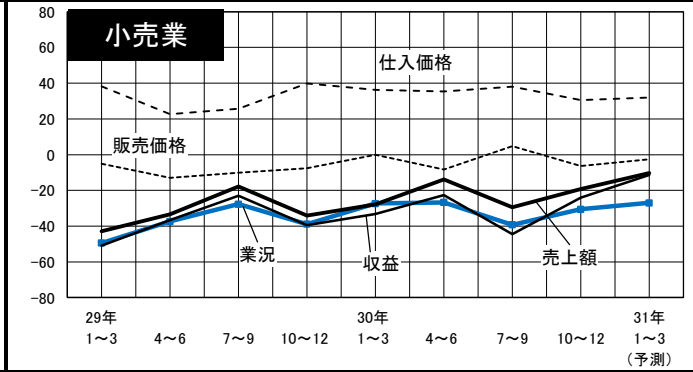
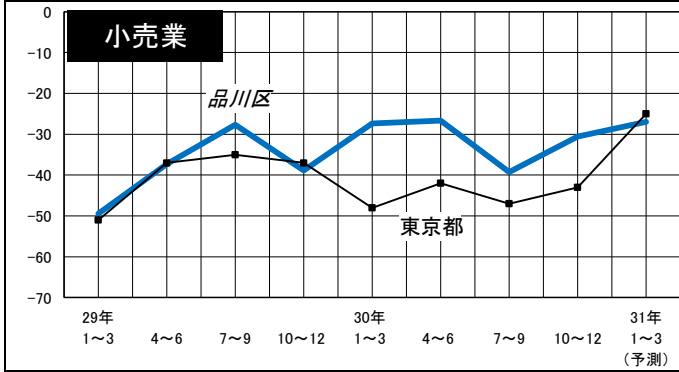
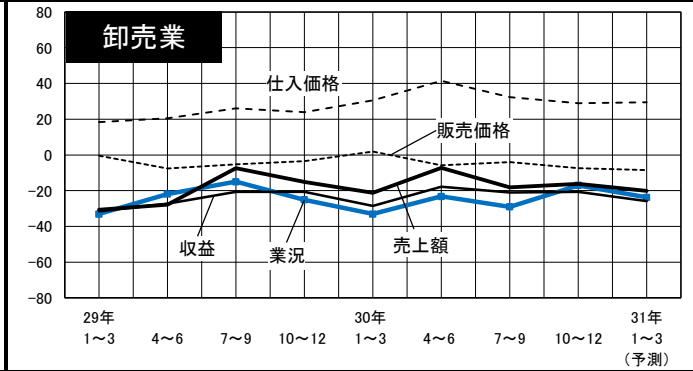
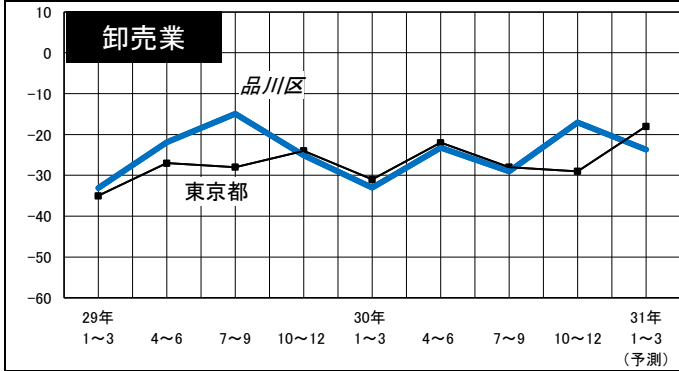
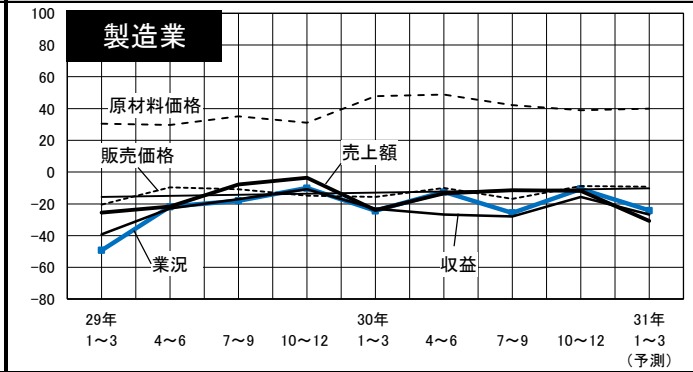
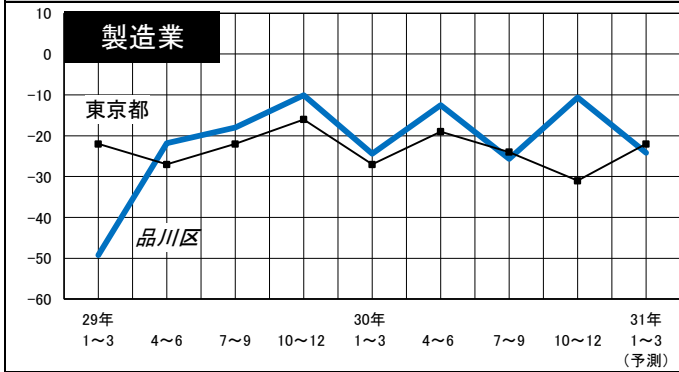


これは、平成 30 年 12 月下旬に調べた区内中小企業の景気動向と、これから先 3 ヶ月間（平成 31 年 1 月～3 月期）の予想をまとめたものです。

全体	今期		業況はやや改善した。売上額、収益は減少幅がかなり縮小した。販売価格は下降傾向がやや弱まり、仕入価格は上昇傾向がやや弱まった。資金繰りは厳しさがやや和らいだ。
	来期		来期の見通しは、業況は低調感がやや強まる見込み。売上額と収益は減少幅がやや拡大すると予想されている。
製造業	今期		業況はかなり改善した。売上額は前期並となり、収益は減少幅がかなり縮小した。販売価格は下降傾向がかなり弱まり、原材料価格は上昇傾向がやや弱まった。在庫は過剰感がやや強まった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。
	来期		来期の見通しは、業況は低調感がかなり強まる見込み。売上額と収益はともに減少幅がかなり拡大すると予想されている。
卸売業	今期		業況はかなり改善した。売上額は減少幅がやや縮小し、収益は前期並となった。販売価格は下降傾向がやや強まり、仕入価格は上昇傾向がやや弱まった。在庫はほぼ前期並となった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。
	来期		来期の見通しは、業況は低調感がかなり強まる見込み。売上額、収益は減少幅がやや拡大すると予想されている。
小売業	今期		業況はかなり改善した。売上額は減少幅がかなり縮小し、収益は減少幅が極端に縮小した。販売価格は上昇から下降に転じ、仕入価格は上昇傾向がかなり弱まった。在庫は過剰感がやや強まった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。
	来期		来期の見通しは、業況はやや改善する見込み。売上額、収益は減少幅がかなり縮小すると予想されている。
サービス業	今期		業況は低調感がやや強まった。売上額は増加に転じ、収益は減少幅がかなり縮小した。料金価格は下降傾向がやや弱まり、材料価格は上昇傾向がやや強まった。資金繰りは厳しさがやや増した。
	来期		来期の見通しは、業況はほぼ今期並となる見込み。売上額は増加から減少に転じ、収益は減少幅がかなり拡大すると予想されている。
建設業	今期		業況は低調感がかなり強まった。売上額、施工高、収益は減少幅がかなり縮小した。請負価格は下降傾向がかなり弱まり、材料価格はほぼ前期並となった。在庫は過剰感がかなり強まった。資金繰りは厳しさがやや増した。
	来期		来期の見通しは、業況はやや改善する見込み。売上額は減少幅がかなり縮小し、収益は減少幅がやや拡大すると予想されている。

品川区と全都の業況の動き（実績）
と来期の予測

業況と売上額、収益等の動き（実績）
と来期の予測



※東京都の景況調査におきましては建設業の調査は実施されていないので、全都の建設業の業況は表示していません。

品川区 業種別 経営上の問題

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業
第1位	売上の停滞・減少 49%	売上の停滞・減少 40%	売上の停滞・減少 42% 人手不足 42%	売上の停滞・減少 38%	人手不足 54%
第2位	人手不足 29%	利幅の縮小 25%	商店街の集客力の低下 26% 天候の不順 26%	人手不足 35%	売上の停滞・減少 38%
第3位	原材料高 23%	人手不足 22% 同業者間の競争の激化 22%	同業者間の競争の激化 19% 人件費の増加 19%	人件費の増加 31%	下請の確保難 26%
第4位	利幅の縮小 19% 工場・機械の狭小・老朽化 19%	為替レートの変動 17%	利幅の縮小 16% 店舗の狭小・老朽化 16%	同業者間の競争の激化 27%	人件費の増加 25%
第5位	同業者間の競争の激化 14%	仕入先からの値上げ要請 15%	仕入先からの値上げ要請 10%	利幅の縮小 26%	利幅の縮小 17%

品川区 業種別 重点経営施策

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業
第1位	販路を広げる 54%	販路を広げる 55%	経費を節減する 45%	人材を確保する 52%	人材を確保する 52%
第2位	人材を確保する 35%	経費を節減する 33%	人材を確保する 39%	販路を広げる 46%	販路を広げる 36%
第3位	経費を節減する 30% 新製品・技術を開発する 30%	情報力を強化する 29%	宣伝・広報を強化する 26% 仕入先を開拓・選別する 26%	経費を節減する 39%	経費を節減する 33%
第4位	情報力を強化する 19% 教育訓練を強化する 19%	人材を確保する 27%	品揃えを改善する 16%	技術力を強化する 22%	情報力を強化する 30%
第5位	工場・機械を増設・移転する 16%	品揃えを充実する 15%	売れ筋商品を取扱う 13% 教育訓練を強化する 13%	新しい事業を始める 13%	技術力を高める 29%

東京都の景況

平成30年12月の都内中小企業の業況DI（業況が「良い」とした企業割合－「悪い」とした企業割合）は、前期から1ポイント減の▲29とほぼ横ばいとなった。今後3ヶ月間（平成31年1～3月）の業況見通しDIでは、今期比9ポイント増の▲20と厳しさがかなり和らぐと見込まれている。

業種別に見ていくと

製造業 業況DI（▲31）は7ポイント減とかなり悪化した。仕入価格DI（仕入単価が「上昇」とした企業割合－「低下」とした企業割合）（13）は3ポイント減とやや上昇が弱まり、販売価格DI（販売単価が「上昇」とした企業割合－「低下」とした企業割合）（▲5）は2ポイント減とやや下降を強めた。今後3ヶ月間の業況見通しDI（▲22）は9ポイント増とかなり改善すると見込まれている。

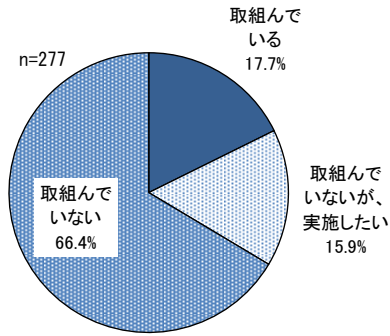
卸売業 業況DI（▲29）は1ポイント減でほぼ横ばいであった。仕入価格DI（9）は4ポイント減とやや上昇が弱まったが、販売価格DI（2）は1ポイント増でほぼ横ばいであった。今後3ヶ月間の業況見通しDI（▲18）は11ポイント増とかなり改善すると見込まれている。

小売業 業況DI（▲43）は4ポイント増とやや改善した。一方、仕入価格DI（▲5）は4ポイント減、販売価格DI（▲10）は5ポイント減とやや下降を強めた。今後3ヶ月間の業況見通しDI（▲25）は18ポイント増とかなり改善すると見込まれている。

サービス業 業況DI（▲17）は増減なしで横ばいとなった。販売価格DI（▲7）は5ポイント減とやや下降を強めた。今後3ヶ月間の業況見通しDI（▲16）は1ポイント増とほぼ横ばいに推移すると見込まれている。

特別調査「新規事業・販路開拓について」

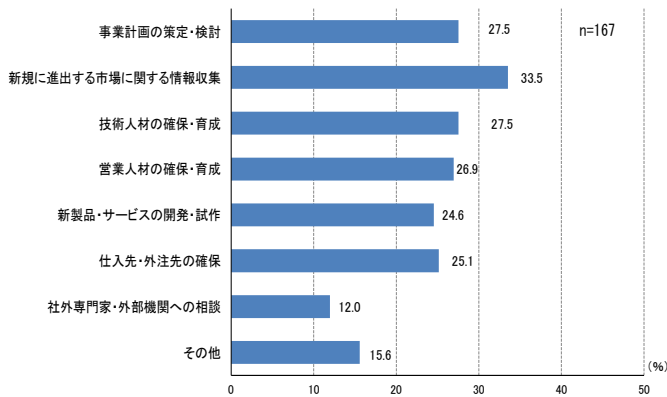
1. 新規事業への進出(最近5年以内)



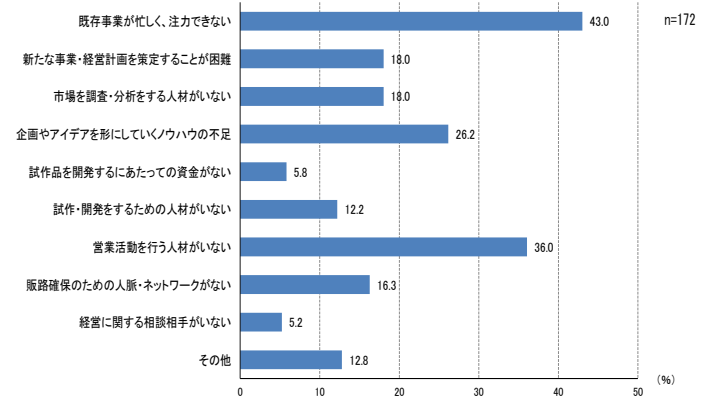
(単位：%)

	取組んでいる	取組んでいないが、実施したい	取組んでいない
全体 (277) 件	17.7	15.9	66.4
製造業 (61) 件	19.7	11.5	68.9
卸売業 (70) 件	30.0	14.3	55.7
小売業 (27) 件	18.5	22.2	59.3
サービス業 (53) 件	13.2	24.5	62.3
建設業 (66) 件	6.1	12.1	81.8

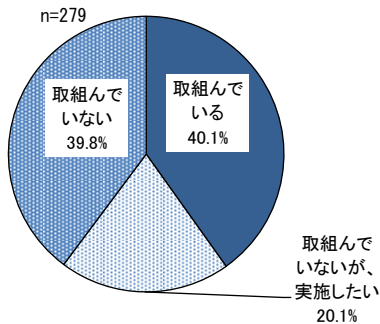
2. 新規事業に関する取組内容(予定含む)



3. 新規事業への進出にあたっての課題



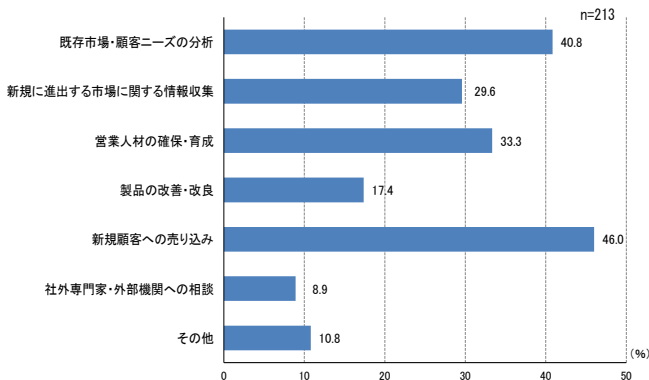
4. 販路開拓への取組(最近5年以内)



(単位：%)

	取組んでいる	取組んでいないが、実施したい	取組んでいない
全体 (279) 件	40.1	20.1	39.8
製造業 (64) 件	48.4	17.2	34.4
卸売業 (68) 件	54.4	17.6	27.9
小売業 (26) 件	38.5	15.4	46.2
サービス業 (53) 件	35.8	26.4	37.7
建設業 (68) 件	22.1	22.1	55.9

5. 販路開拓に関する取組内容(予定含む)



6. 販路開拓にあたっての課題

